

抗生物質ナナフロシン外用剤

ナナオマイシン油剤 あすか

ナナオマイシン油剤あすかは、ノーベル医学生理学賞受賞者である北里研究所・大村智博士によって発見・命名された抗生物質であるナナフロシンを有効成分とする動物専用の製剤です。

その作用は糸状菌、特に牛皮膚糸状菌症の原因菌であるトリコフィートン・ベルコーザムに対し、強い殺菌効果を有します。牛皮膚糸状菌症(Dermatomycosis)は、糸状菌に起因する表在性の皮膚炎であり、一般には、白癬又はリングウォーム

とも呼ばれています。牛皮膚糸状菌症は、直接及び間接の接触により感染し、その感染力も強いため、特に多頭飼育農場では同時に多数の牛に感染します。さらに、人にも容易に感染することから公衆衛生上、重要な疾病となっています。ナナオマイシン油剤あすかは牛皮膚糸状菌症に対し、病巣部の痂皮(かさぶた)を除去せず1~2回の塗布ですぐれた治療効果を示し、治癒と同時に発毛が見られます。

ナナオマイシン油剤あすかの特長



- 1 糸状菌にすぐれた抗菌力を示します。
- 2 殺菌的に作用します。
- 3 病巣部に1~2回の塗布ですぐれた治療効果を示します。
- 4 塗布に際し、かさぶたを除去する必要はなく、治癒と同時に発毛が見られます。



ナナオマイシン油剤 あすか

■ナナオマイシンの糸状菌及び一般細菌に対するMIC

	菌 種	MIC (mcg/mL)
糸状菌	<i>Trichophyton verrucosum</i> Vut-7019	0.1
	<i>Trichophyton verrucosum</i> Vut-79026	0.1
	<i>Trichophyton equinum</i> Vut-79045	1.56
	<i>Trichophyton mentagrophytes</i>	0.8
	<i>Microsporum nanam</i> Vut-4013	0.2
	<i>Microsporum nanam</i> Vut-70026	0.2
	<i>Microsporum gypseum</i> Vut-79004	1.56
	<i>Microsporum gypseum</i> 704	0.8
	<i>Microsporum canis</i> Vut-79064	0.2
一般細菌	<i>Staphylococcus aureus</i> FDA 209P	2.0
	<i>Mycoplasma gallisepticum</i> KP-13	0.05
	<i>Mycoplasma gallisepticum</i> S-6	0.1
	<i>Mycoplasma gallisepticum</i> 333P	<0.013
	<i>Mycoplasma gallinarum</i>	1.56
	<i>Mycoplasma iners</i>	3.12
	<i>Sarcina lutea</i> PCI 1001	2.0
	<i>Bacillus subtilis</i> PCI 219	7.8

成 分 及 び 分 量	有効成分 ナナフロシン
	分量 100mL中10mg(力価)
効 能 又 は 効 果	有効菌種 トリコフィートン ベルコーザム 適 応 症 牛:皮膚糸状菌症
用 法 及 び 用 量	1回本剤を患部に100cm ² 当たり、ナナフロシンとして0.05~0.1mg(力価)[本剤0.5~1.0mL]を刷毛等を用いて塗布する。 重症の場合は塗布1週間又は2週間後再塗布する。
使 用 上 の 注意	使用上の注意をよく読み、用法・用量を守って正しく使用すること。
包 装	200mL褐色ガラス瓶入り (塗布用カップ及び刷毛添付)
貯 法	室温保存
使 用 期 限	3年

■野外試験例

1. 試験方法

ナナオマイシン油剤あすかを病巣部100cm²(10×10cm)当たり0.5~1.0mLをかさぶたの上から1回塗布した。

2. 試験成績

供試頭数	治療30日目の所見		
	有 効	やや有効	無 効
8頭	5頭(63%)	3頭(37%)	0頭(0%)

有効:

かさぶたは脱落し、発毛しており、周囲との区別がつかなくなつたもの。

やや有効:

かさぶたの一部は残存するものの、中等度に発毛が認められるもの。

無効:

病巣部は塗布前と変化なく、発毛が全く認められないもの。

供試牛(No.1):13カ月齢の黒毛和種(雄)、体重400kg



塗布前の所見

眼瞼周囲、顎、頸に10cm程度とそれより小さい病巣が散見される。



塗布後15日目の所見

病巣が乾燥し、発毛が見られる。



塗布後30日目の所見

かさぶたは完全に脱落し、発毛があり、周囲との区別はつかず治癒。